

J-333SXビーチスタンドカバー PVC560mm

このたびはレーシングビーチスタンドシングルをお買い上げいただきありがとうございます。
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。

NO	品番	品名	数
1	J-333SX-11	シングルスタンドパイプ上側ジョイントパイプ溶接品	2
2	J-333SX-12	シングルスタンドパイプ下側ジョイントパイプ溶接品	2
3	J-333SX-14	シングルスタンドジョイントインナーパイプ	4
4	JL808	J-333SXビーチスタンドカバー PVC560mm	2
5	J-333SX-B	レーシングビーチスタンドシングル用ベルト700ミリバツクル付	2
6	P04-8-90	SUS六角ボルトM8-90	2
7	P06-08	SUSワッシャーM8	8
8	P06-081	ナイロンワッシャーM8	2
9	P15-08	ナイロンナットM8	2
10	P04-6-50	SUS六角ボルト6-50	8
11	P05-06	SUSスプリングワッシャーM6	8
12	P07-06	SUSナットM6	8

■使用する工具
モンキーレンチ
◎スパナ10、13番



コチラのQRコードより
弊社通信販売にて
交換部品販売しております。

- 組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

■組立手順

■フレーム組立手順

- 1 ジョイントインナーパイプの中心穴を合わせ六角ボルトM8-90、ワッシャーM8を差し込み
中間にナイロンワッシャーM8を挟み、裏からワッシャーM8、ナイロンナットM8で締めます。
- 2 スタンドパイプ下側2本を向かい合わせに配置します(この時ベルトホールが上に来て内側の向きで)
その配置した左右にさきほど組み立てたジョイントパイプを配置します。(写真参照)
- 3 ジョイントパイプをスタンドパイプ下側に差し込み、差し込んだ穴に六角ボルトM6-50を差し込み裏から
スプリングワッシャーM6、ナットM6にて仮締めします。
- 4 スタンドパイプ上側をエンド曲げ部が内側を向く向きでジョイントパイプに差し込み、差し込んだ穴に六角ボルトM6-
差込み裏からスプリングワッシャーM6、ナットM6にて仮締めし全て仮締めしたら全部のボルト類を増し締めします。
- 5 最後にスタンドパイプ上側にビーチスタンドカバーを押し込んで完成です。

- ベルト装着方法は別紙組立写真②の写真図を参照ください。

スタンド幅は約300ミリになるように、2本のベルトを均等に荷重がかかるように調整し
てください、この時荷重が均等でないとベルトが切れる恐れがありますので注意してください。
数回使用しますといったんベルトが伸びますので、調整しなおしてください。

■使用上の注意

- 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。
- このビーチスタンドはシングル用ですので無理な積載は破損の原因になりますのでおやめください。
- エンジンの勢いでの乗せ上げは絶対にしないでください破損の原因になります。
- ご使用前には必ずボルト&ネジ類のゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故、破損の原因になります。
- すり減ったベルトでのご使用は大変危険ですので、必要に応じて交換してください。
交換用ベルトJ-333SX-B
- 艇の重心は必ずスタンドの前後中央にくるように乗せてください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますとケガの原因となります、必ずグローブ&ブーツを着用のうえご使用ください。
- 乗せ上げは必ず複数人にて行ってください。
- 誤った組立て、もしくは使用方法での苦情には応じかねますのであらかじめご了承ください。

 **FACTORY ZERO**

取扱上の注意事項

ご使用前に必ず熟読しお守りください！ 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。

写真はランナバウトを使用していますが注意事項動作等は同じです。



●ジェットの上に乗せての積載は破損しますのでおやめください。



●ジェットを真上からドスン！と乗せると破損します、必ずゆっくり降ろすか前後からスライドさせて乗せてください。
●高い位置からの乗せ移し(トラック荷台等)は危険です、またビーチスタンドの破損の原因になります。



●ジェットの推進力の勢いでスタンドに乗せないでください、破損の原因になります。

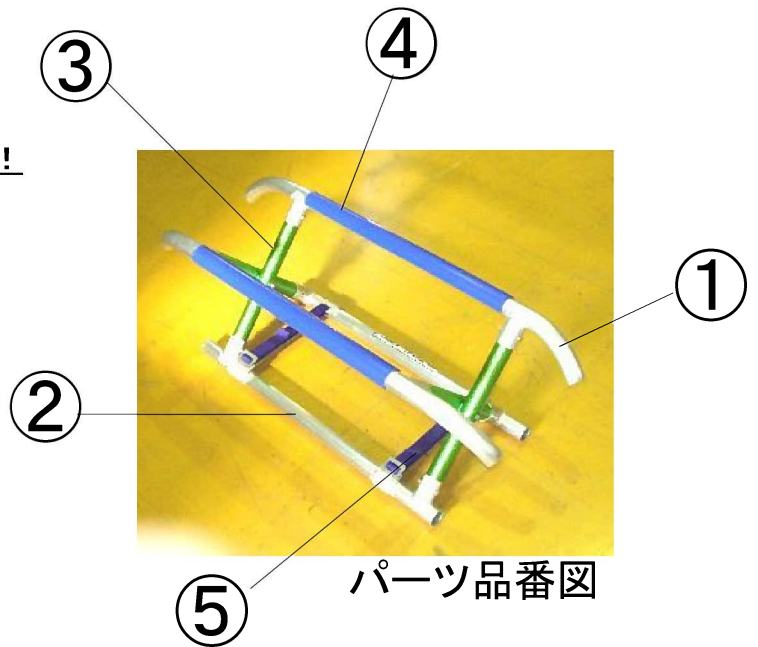


●潮の干満によるビーチスタンドの紛失にご注意ください。

- ご使用前には必ずボルト&ネジ類、ベルトのゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故破損の原因になります。
- シングルスタンドアップ艇以外の艇は乗せないでください、破損の原因になります。
- 転覆等で水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 定期的にビーチスタンドの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- 極端にすり減ったレールカバーでのご使用は船体が傷つく恐れがあります、必要に応じて交換してください。
- 艇によってはレール幅が合わずライドプレート等でフレームにキズつく恐れがあります。
- ビーチスタンド使用時、使い方によっては艇にキズつく恐れがありますのでご注意ください。
- 長期間保管にて使用されますと疲労によりベルトが切れる場合がありますのでご注意ください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますとケガの原因となります、必ずグローブ&ブーツを着用の上ご使用ください。
- 高い位置からの乗せ移し(トラック荷台等)は危険です、またビーチスタンドの破損の原因になります。
- その日の気象状況を十分に確認し、波風が強い日はご使用をおやめください
状況によっては乗せ上げの際、艇にキズつく恐れがあります。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

組立写真①

J-333SX レーシングビーチスタンドシングル



完成写真

●シングル艇以外は絶対に乗せないでください！
破損の原因になります。
その他使用上の注意をご確認ください。

ベルトホール



1 インナージョイントパイプをM8ボルト類で組みます。



2 写真のようにベルトホールが上向き内向き状態でスタンドパイプ下側を対面にジョイントパイプを左右に四角に配置します。



3 ジョイントパイプをスタンドパイプ下側に差し込みます。



差し込んだ部分の穴にM6ボルト類で仮締めします。



4 スタンドパイプ上側をジョイントパイプに差し込みます。

※差し込む向きに注意してください！エント曲げ部が極端に内側に向く向きではなく
下方向に垂れて少し内側に向く向きで組立ください。



差し込んだ部分の穴にM6ボルト類で仮締めします。
全て仮締めしたら全部のボルト類(上下)を増し締めしフレーム組は完成です。
ベルト装着は組立写真②を参照ください。

組立写真②へ

組立写真②



- 5 最後にビーチスタンドカバーを上から押し込んで完成です。

ベルト装着方法



完成写真



- ①バックルの裏表に注意して左右のベルトホールにベルトを通します。

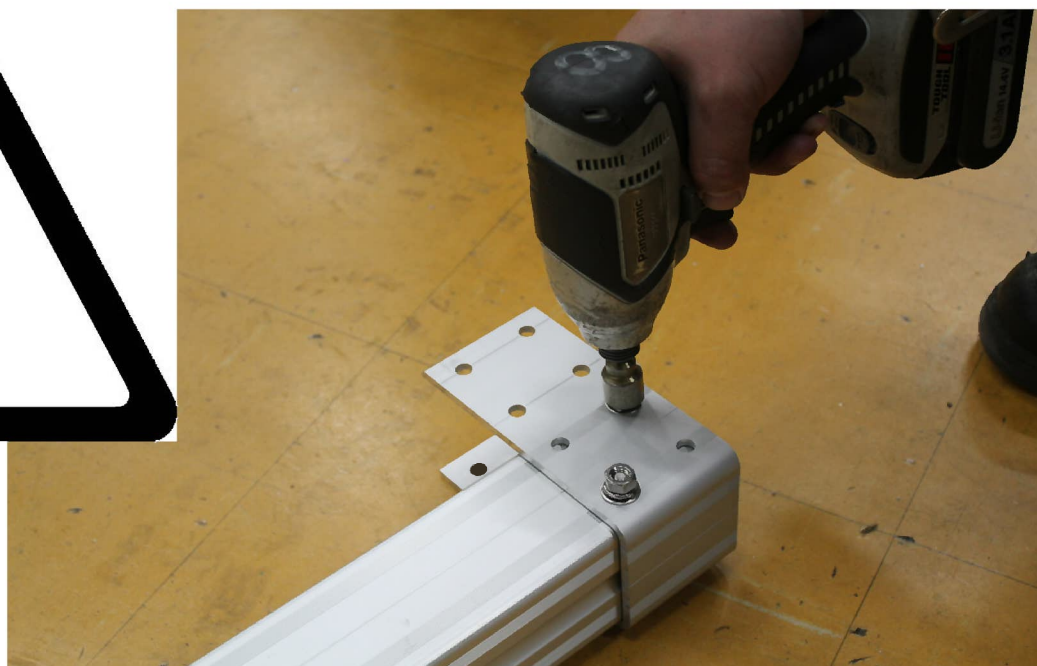


- ②ベルトホールに通したベルト先端をバックル下側から通し、もう1つの奥の穴に上から下へ通します。 スタンド幅は約300ミリになるように、2本のベルトを均等に荷重がかかるように調節してください、この時荷重が均等でないとベルトが切れる恐れがありますので注意してください。 数回使用しますといったんベルトが伸びますので、調節しなおしてください。

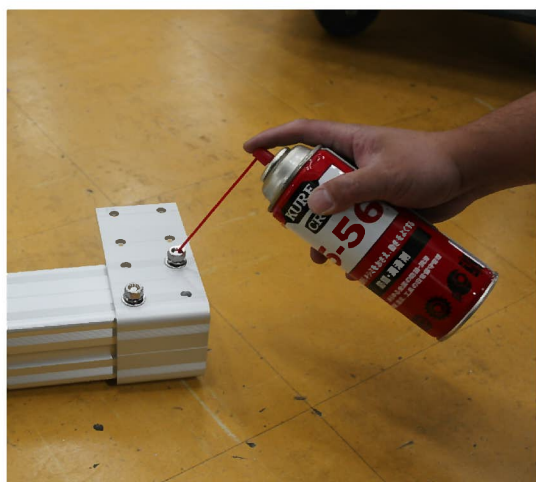
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

J-333SX、J-345S、J-350SX すべてベルトバックルの向きは上の写真の向きで組んでください。

